

◆ディプロマポリシーとコンピテンシーの関連性

DP		コンピテンシー	対応する授業科目												
①言語運用能力	医療現場・研究領域において適切なコミュニケーションを実践できる	1 わかりやすい言葉を使いながら、冷静に思いやりを持って患者に安心感を与え癒やすことができる。	医療心理学	医療プロフェッショナルリズムの実践	医学実習Ⅰ・Ⅱ	Pre/Post CC OSCE									
		2 必要な情報を共有しながら正確な意思疎通を行い、医療チーム内の信頼関係を構築する。	医療心理学	行動科学とチーム医療	医学実習Ⅰ・Ⅱ	医学実習Ⅰ・Ⅱ									
		患者に対して傾聴・共感の姿勢を持ち、患者中心の医療を実践できる	3 患者や家族の心理・社会的背景を理解し、誠実な態度で適切な信頼関係を築くことができる。	医療心理学	医療プロフェッショナルリズムの実践	解剖学Ⅰ	患者との出会い	児童精神医学	医学実習Ⅰ・Ⅱ	Pre/Post CC OSCE					
			4 患者の主体性を尊重しながら、医療行為の必要性・内容・危険性・他の選択肢等を患者に説明し、理解と納得に基づく同意を得る。	統合講義総論	医療管理学・診断学	医学実習Ⅰ・Ⅱ (特に医療面接実習)									
			5 患者および家族に対し、利他的・共感的に接しながら誠実に対応する。	医療心理学	医学概論	医療プロフェッショナルリズムの実践	児童精神医学	医学実習Ⅰ・Ⅱ	Pre/Post CC OSCE						
			6 患者の苦痛や感情に配慮しながら、患者と家族に対して誠実で適切な支援を行う。	医療心理学	医療プロフェッショナルリズムの実践	公衆衛生 (特に制度面)	児童精神医学	医学実習Ⅱ							
			7 患者の立場を尊重し、病歴を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行う。	医療心理学	症候論・PBL	臨床実習前特別講習	Pre/Post CC OSCE	医療管理学・診断学	医学実習Ⅰ・Ⅱ						
	8 医療・研究グループ構成員それぞれの役割を理解し尊重しながら、患者中心の最良の医療・介護を提供するために連携することができる。	早期医学実習	早期医学実習	医学実習Ⅰ・Ⅱ (旧課題実習)	行動医学とチーム医療	医学実習Ⅰ・Ⅱ									
	医療チーム・研究グループの一員として、時としてリーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる	9 同僚や専門領域が異なる医師・研究者の業務を理解し、役割分担・情報共有・意思疎通・相談等を円滑に行う。	早期医学実習	早期医学実習	医学実習Ⅰ・Ⅱ (旧課題実習)										
		10 最良の医療・研究を提供するために、構成員間の意見の相違や軋轢を調整し、円滑で効果的なチーム医療・研究を先導する。	1年次PBL チュートリアル	行動科学とチーム医療	医学実習Ⅰ・Ⅱ (旧課題実習)	統合講義でのPBLチュートリアル	医学実習Ⅱ								
		11 必要な情報を共有しながら正確な意思疎通を行い、医療・研究グループ内の信頼関係を構築する。	早期医学実習	早期医学実習	医学実習Ⅰ・Ⅱ (旧課題実習)	医学実習Ⅱ									
		国際的視野を持ち、世界標準の医療・医学研究に関する情報を収集できる	12 国際人としての語学力や教養を備え、健康や疫病に関する国際的視野を持ち、国際社会の一員として活動する。	医学英語Ⅰ・Ⅱ	国際交流活動										
			13 社会医学の知識を、医療・保健活動に応用できる。	衛生学	公衆衛生学										
14 基礎医学の知識を有し、その知識を疾患の病因・病態・症候・治療等の理解に応用できる。			医用物理学 分子生物学 免疫学	医用化学Ⅰ・Ⅱ 医療心理学 薬理学 微生物学 国際動物学	医学生物学 細胞生物学 生化学 内分分泌学 病理学										
②知識・理解 (21世紀型市民及び学士として)	特定分野にとらわれない幅広い教養、基礎科学・社会環境・病態生理に立脚した医学的知識を有している	15 社会医学の知識を有し、その知識を医療・保健活動の実践に応用できる。	生物統計学	衛生学	公衆衛生学	法医学									
		16 人間の生涯にわたる行動と心理の特性を理解できる。	医療心理学	行動科学とチーム医療	医療管理学・診断学 (行動変容)	Pre/Post CC OSCE									
		17 慢性疾患の病態・経過・治療を理解し、医療を提供する場や制度に応じて、医療チームの一員として慢性期医療に参画する。	統合講義	医療管理学・診断学	医学実習Ⅰ・Ⅱ										
	症候から鑑別診断・確定診断にいたる、根拠に基づいた臨床推論を実践できる	18 患者の病状、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点のプレゼンテーションを行い、医療・研究グループ構成員と情報共有ができる。	医療管理学・診断学	医学実習Ⅰ・Ⅱ	Post CC OSC										
		19 網羅的に系統立てて効率的な身体診察を行い、所見を認識・記録し、適切な鑑別診断を行う。	統合講義	OSCE前オリエンテーション	医学実習Ⅰ・Ⅱ	Post CC OSC									
		20 高頻度または重要な疾患について、疫学・病因・病機・病態・症候・診断・治療・予後の知識を修得し、臨床推論に基づく適切な診療ができる。エビデンスを吟味し臨床判断に応用できる。	症候論・PBL チュートリアル	統合講義	医療管理学・診断学	医学実習Ⅰ・Ⅱ									
		21 診療録についての基本的な知識を修得し、問題志向型診療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文章を作成できる。	統合講義	臨床実習前特別講習	医学実習Ⅰ・Ⅱ										
		22 基本的な臨床技能について、適応、実施方法、合併症を理解し、適切な態度でこれを安全に実施できる。	統合講義	OSCE前オリエンテーション	Pre CC OSCE	医学実習Ⅰ・Ⅱ									
	医療現場における安全・安心に立脚した基本的診療能力・技能を有している	23 医療の質や安全管理を守るために、個人的・組織的な対応を行い、これらを常に振り返り、その改善と向上を図ることができる。	医学概論	公衆衛生学 衛生学	臨床総論	臨床実習前特別講習	医学実習Ⅰ・Ⅱ								
		24 緊急を要する病態や疫病・外傷の基本的知識を習得し、医療チームの一員として救急医療に参画する。	統合講義	医学実習Ⅰ・Ⅱ											
	③問題解決・課題探求能力	医学の学びの中、あるいは臨床現場において、自ら問題点を見出し、解決することができる	25 基礎・臨床・社会医学領域での研究の意義を理解し、科学的情報を批判的に評価する姿勢を持ち、未知の病態や治療への興味・関心を維持できる。	医学入門 (チュートリアル)	早期医学実習Ⅰ・Ⅱ	医学実習Ⅰ・Ⅱ									
26 医学・医療において既存の知識・技能では対応できない問題点を抽出し、それらを解決する過程に参画することができる。			早期医学実習Ⅰ・Ⅱ	生理薬理実習	医学実習Ⅰ・Ⅱ										
積極性・向上心を持ち、自己主導型学習を実践できる		27 自身に対するフィードバックを受け入れ、常に自らの知識・能力・振舞いを省察し、自己の向上に努める。	医学教育 (講義・実習) 全般												
		28 提供する医療の向上のために、同僚や関係者間で建設的なフィードバックを行い、共に教えあい学びあう。	医学入門 (チュートリアル)	統合講義 (PBLチュートリアル)	医療倫理	臨床病理検討									
④倫理観・社会的責任	医師・医学研究者として、倫理観・使命感・責任感を持ち、省察的態度をもって行動ができる	29 医療人としての倫理的問題を理解し、利他的・共感的に行動できる。	医学概論	医療倫理	医療管理学・診断学	医学実習Ⅰ・Ⅱ									
		30 研究倫理および利益相反に関する問題を理解し、適切に行動できる。	医学概論	医学実習Ⅰ・Ⅱ											
	専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢を持っている	31 医師としての責任感を持ち、自らを律して行動できる。	医学概論	解剖学Ⅰ	行動科学とチーム医療	医学実習Ⅰ・Ⅱ									
		32 常に最新・最善の医療を提供するために、生涯にわたり継続して学修できる。	医学概論	医学実習Ⅰ・Ⅱ											
⑤地域理解	地域の保健・医療・福祉の実情を理解し、介護・福祉施設と緊密に連携して地域医療に積極的に参加できる	33 医師として業務に限らず、医師・医療人としての責務および社会からの期待を認識し適切に行動する。	医学概論	行動科学とチーム医療	公衆衛生学	衛生学	医学実習Ⅰ・Ⅱ								
		34 地域社会における地域包括ケア・救急医療・在宅医療・健康増進活動等を理解し、その活動に参加する	医療プロフェッショナルリズムの実践	衛生学・公衆衛生学	医学実習Ⅱ	医療総合講義									
		35 地域の保健・医療・介護・福祉の制度とシステムを理解し、その知識を活用できる。	医療プロフェッショナルリズムの実践	公衆衛生学	衛生学	医学実習Ⅱ									
		36 社会と健康・疾病の関係を理解し、疾病予防や健康増進の活動に参加する	医学概論	衛生学・公衆衛生学ユニット講義											
37 国民皆保険の意義を理解し、保険診療に関する法令に従って、医療の経済性に配慮しながら診療を行うことができる	衛生学・公衆衛生学ユニット講義														
38 災害医療の特殊性とそれに関する組織 (DMAT, JMAT等) についての知識を習得し、災害発生時には適切に行動して社会や地域に貢献できる	医療プロフェッショナルリズムの実践	(防災訓練)	統合講義 (災害)	医学実習Ⅱ											